

# 令和3年大磯町議会

## 12月定例会一般質問（12月7日・8日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 2番 吉川 重雄議員 （80分） 9:05～10:25</p>	<p><b>1. 中崎町長の行政運営に対する政治責任を問う。</b> 町長に就任してから10年以上が経過した。 その中で、行政運営上の様々な問題が明らかになった。 例を挙げれば、中学校デリバリー給食の問題、こゆるぎハイツのプロパン庫や東海大学医学部附属大磯病院などの固定資産税課税漏れの問題、さらには、就任以来、増え続ける町の借金（町債）が令和2年度末で177億円を超えた問題などである。 これらの問題に対し、一般質問を通して、町長としての政治姿勢を指摘してきたが、いずれも行政トップとしての責任のあり方に疑問を感じるとともに、身の処し方が不明確であり、将来への強い懸念を感じざるを得ない。 そのようなことから、今回は、町が多額の税金を投入し実施している事業であり、併せて町民生活に多くの影響を与えると考える、次の2点について、町長の見解と政治責任を問う。 （1）社会福祉法人「大磯町社会福祉協議会」に委託している「地域包括支援センター」の業務について、円滑な業務運営に繋がる町の対応は十分か。また、町民利用者への支援は、元の正常な状態に戻っているのか。 （2）大磯港賑わい交流施設「オオイソ コネクト」の運営は、「大磯港賑わい創出施設の設置、管理等に関する条例」、また「大磯港賑わい創出施設の管理に関する基本協定書及び指定管理業務仕様書」の規定に基づいているのか。 また、施設の職場内で起きた問題について、どのように把握し、その対応は十分であると考えているのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 6番 二宮加寿子議員 （70分） 10:45～11:55</p>	<p><b>1. 大磯町の交通安全対策について</b> 大磯町の交通安全計画について第10次の計画が今年度で計画期間を満了となることから、次期計画となる第11次計画を策定中である。第11次計画の重点項目の考え方なども含め、地域特性や町の課題などをどのように第11次計画に位置づけ、そして、どのように第10次計画を総括した上で計画を策定していくのか。 また、計画策定に向けた関係機関なども含めた推進体制はどのような状況か。</p> <p><b>2. コロナにおける防災・減災対応と今後の対策について</b> 令和3年度は、前年からの影響によって様々な会合や集まったの活動は自粛を余儀なくされたが、大事な町民の命を守る対応は歩を止めることなく行われていくものと思う。そこで何う。 （1）本年度の防災会議や訓練はどのようなか。</p>	<p>町 長</p>

	<p>(2) 今後の対策として行うべき課題はあるか。  (3) さらに取り組むべき事柄の考えはどのようなか。</p> <p><b>3. ふるさと納税への対応について</b></p> <p>ふるさと納税は、応援したい、貢献したいと思う寄附金を寄附者の意向を反映した上で、まちづくりへの取り組みを形に変えていく制度であり、寄附者においても税制上の優遇措置がなされる制度である。</p> <p>大磯町でもこの制度を活用して、6つの応援テーマを設け、各種事業や取り組みなどへの財源に活用するため、より多く利用いただくため、地域特産品を用いた返礼品にも工夫を施すなど取り組んでいる状況は理解するが、もう少し力を注ぐ必要もあると考える。</p> <p>現状と今後の取り組みへの考えを伺う。</p>	町 長
<p>3</p> <p>11 番 高橋 英俊議員 ( 45 分 ) 13 : 00～13 : 45</p>	<p><b>1. 町消防団の現状と課題及び今後の対応について</b></p> <p>消防団は地域防災の中核的役割をなす存在であり、自然災害が多発する昨今の状況において、ますますその役割は重要になっている。しかし、全国的に消防団員の減少に歯止めがかからず、地域防災力の低下が大きな課題となっている。このため総務省消防庁においては、消防団の確保のため「消防団員の処遇等に関する検討会」を立ち上げ、昨年から今年にかけて議論を重ね、報告をとりまとめたと聞いている。</p> <p>そこで以下4点について質問をする。</p> <p>(1) 消防団員の定数及び実人員の推移について  (2) 消防団の出勤・出動状況について  (3) 消防団の課題について  (4) 「消防団員の処遇等に関する検討会」からの報告内容及び今後の対応について</p> <p><b>2. 災害時の町民の避難と各避難場所について</b></p> <p>(1) 災害時の町民の避難について町はどのように考えているか。  (2) 町が指定している「指定緊急避難場所」は、大雨台風等により、町内に土砂災害等の発生や河川の氾濫が予想される場合に町と協議して避難所を開設するとされている。「いっとき避難場所」には、「土砂災害警戒区域」や「洪水浸水想定」「津波浸水想定」内に位置する施設も少なくない。災害の規模や場所は一様でないことから、多くの「いっとき避難場所」を指定しておく意義はあると思うが、危険も予想される地域での指定については、見直していく必要があるのではないかと考える。</p> <p>町の考え方を伺う。</p>	町 長
<p>4</p> <p>9 番 玉虫志保実議員 ( 40 分 ) 14:05～14:45</p>	<p><b>1. 大磯駅前洋館について</b></p> <p>大磯駅前洋館の賃貸借契約が令和4年に満了を迎える。「民間企業に貸し付けることにより、町民の財産である歴史的建造物としての価値を損なわないような活用が実現できる」というのが契約更新時の町の考えと理解している。しかし、コロナウイルス感染症のまん延により変化した生活環</p>	町 長

	<p>境にあわせて、生活様式の変更を求められている今、大磯駅前洋館は駅付近の町所有の土地と建物であることから、大磯駅前広場の整備を進める中で、その有効活用については考えなおす必要があると考える。</p> <p>駅前という交通の要所に建つ大磯駅前洋館は、大磯港のO I S O C O N N E C Tと同様、町のランドマークであり、拠点となりうる建物と考える。町の現在の考えを問う。</p> <p>(1) 民間企業に貸し付けることにより、財政負担の軽減ができ、町民の財産である歴史的建造物としての価値を損なわないような活用が実現されていることがメリットと考えるということであったが、現在はどのように考えているか。現在の駅前洋館は町や町民にはどのようなメリット、デメリットがあると考えているのか。</p> <p>(2) 再契約は1回限りという契約となっていた。現在契約している民間企業とは再度契約することはないと考えてよいのか。さらに続けて契約することとなる場合は、どのような場合が考えられるか。</p> <p>(3) 大磯駅前広場整備事業の概算事業費には観光案内所等の再築費は含まれていない。今ある観光協会の建物を壊した後は、公共施設の床面積の削減、財政負担の軽減という点からも再築をせずに駅前洋館の1室を観光案内所にするなど考えるべきではないか。駅前の公共施設としての役割を駅前洋館が担える部分もあるのではないかと。</p>	
<p>5 3番 石川 則男議員 ( 80分 ) 15:05~16:25</p>	<p><b>1. 黒岩公民館の建て替えと地域会館の移管について</b></p> <p>平成5年黒岩公民館の土地を大磯町に寄附し、また平成4年以降12回も黒岩公民館の建て替え要望を大磯町に提出したにも関わらず、今日まで実行されていない問題について問うものである。</p> <p>(1) 令和3年7月10日黒岩地区の方々「黒岩公民館建て替え」について町と地域住民との話し合いがあったが、内容について報告を受けたか、また報告書を見たか。</p> <p>(2) 今後どう進めていく考えか。</p> <p>(3) 令和2年12月28日付けで大磯町区長連絡協議会会長から「地域集会施設の自治会への移管や統廃合」に関する考え方及び町への「お願い」等について各区長から提出された資料があるが見たか。</p> <p>(4) 多くの区長が移管統合に反対意見を提出しているがどう考えているのか。</p> <p><b>2. 大磯町社会福祉協議会について</b></p> <p>社会福祉法人大磯町社会福祉協議会の大きな事業の一つである地域包括支援センターのメンバー全員が令和3年3月末引継ぎもなく辞めることになった問題等について問う。</p> <p>(1) 社会福祉協議会が非常勤職員の方々に提示した雇用契約書が ロ. 継続する場合がある・・・令和元年度から ハ. 更新しない・・・・・・・・令和2年度に変わった理由を把握しているか。</p> <p>(2) 5年以上更新している非常勤職員に更新しないとした雇用契約書に</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>







	<p><b>3. 郷土資料館費の決算額が直近5年間の平均で年1億円を超えてるが。</b> 人口3万人、一般会計100億円弱の大磯町にとって過大な出資と見て取れないか。町民の為になるよう活用出来たら有効であると思う。次の4点について問う。</p> <p>(1) 33年前に約7億円で建てられたが、建設後から令和2年度末までの郷土資料館費の総額はいくらか。</p> <p>(2) 入館者は年間何名の方が、郷土資料館（本館）に訪れているか。</p> <p>(3) その内、大磯町の小・中学生は学校行事等で年間何名訪れているか。</p> <p>(4) 本館では1年間の内、5か月間、企画展が予定されているが、残りの7か月間を町民に開放する計画はないか。町在住のたくさんの芸術家や、それに準ずる人たちに開放すれば、有効なものになると思うが、どうか。</p> <p><b>4. 大磯町社会福祉協議会への委託事業等について</b></p> <p>(1) 地域包括支援センター業務は本年6月以降適切な知識と経験を有する者（主任介護支援専門員）を配置しているか。</p> <p>(2) 福祉センターの指定管理を問う。 土・日・祭日が休館で使用不可能とはだれが決めたことか。町側か社会福祉協議会か。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>11 15番 渡辺 順子議員 (80分) 14:40~16:00</p>	<p><b>1. 大磯町自治基本条例の見直しはいつ行うのか。</b> 昨年開催する予定であった自治基本条例町民委員会は、コロナ感染症の感染拡大によって延期されたままである。町は平成29年6月1日、大磯町自治基本条例町民委員会の答申を受けて町の基本方針を施行した。条例の現実的運用や町民参画を求める場合の手順については、実績を積み上げていく中で必要性も含め長期的に検討することとした。</p> <p>(1) 実績の成果はどうであったか。</p> <p>(2) 今回の町民委員会はどのように進める予定か。</p> <p>(3) 委員会のメンバー構成、公募町民選定の基準について伺う。</p> <p><b>2. 大磯町社会福祉協議会の運営について</b> 9月議会一般質問後の9月14日、大磯町社会福祉協議会から議員全員に、地域ケア会議の議事録と思しき書面（ページの不整合、感想やエクスクラメーションマーク等がついていた）や栗原会長が解職に至った経緯について、言及する書面が届けられた。その後、9月15日に評議員会を傍聴し、9月22日に新会長や3名の事務局職員と話す機会があったが彼らの主張には多くの疑問を感じざるを得なかった。 自らの行為を反省することなく、社協と協力して町の高齢者福祉を支えている事業所や町の福祉部長宛てに、弁護士を通じて相手の名誉を傷つける通知書を送りつける社協の体質が今回の問題を引き起こしている要因ではないか、と私は受け止めている。 高齢化が進む今後の大磯町の福祉行政の発展のために、町は真摯にこの問題に向き合い、指導監督の責任を果たすことが求められていると考える。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>(1) 福祉部長宛てにきた通知書はどのような内容で、どのように対応したのか。</p> <p>(2) 町にも議員宛てに送られてきたと同様な書面が届いたと聞いているが、町長はそれを読んでどのような感想を持たれたか。</p> <p>(3) 県や町の監査の結果、理事会や評議員会、地域ケア会議の会議録や委託事業における補助金の使い方など、社協の状況把握は誰がどのように行い対応しているのか。</p> <p>(4) 昨年度行った大磯町福祉センターの指定管理者選定の時点で、包括支援センター職員の退職問題など社協の諸課題を町は把握していたか。</p>	
<p>12 12番 柴崎 茂議員 ( 80分 ) 16:20~17:40</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>欠席のため、 行いません</p> </div>	<p>1. 広報おおいそ令和3年11月の8ページの「犯罪被害者週間」の記事について この記事についてお尋ねする。 大磯町の能動的行為は何か。</p> <p>2. 大磯町議会は日々進歩しているが、町長としてそれを活用しないのか。 (6月定例会の反省について)</p> <p>3. 議決、その他の事件で13対1、つまり私が1だが、最近多いのではないかと感ずる。ないしは、それに近いことが多いのではないかと感ずる。私がおかしいのか、私が正常なのか、町長は、どのように感じているのか。 11月17日東京へ行った帰り、社協に寄って11月15日の理事会、それに続いての評議員会の話聞いた。詳細は、省くが、「大磯町副町長を務めた立派な栗原匡賢さんを理事を辞めさせるのはとんでもない」との声があったとのことだ。 私は、中崎町長の最大の功績は栗原匡賢氏を副町長に再提案しなかったことだと思っている。後任の副町長人事には賛成したが、実際はどう感じているか、栗原氏についての問題を話題にしてお尋ねする。</p> <p>4. 大磯町町政の今後50年の計の目指すべきことは何か。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

## 11名24問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。